

テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	桜井渚泊推進事業					
実施団体名	桜井漁業協同組合					
協働団体	社会福祉法人 来島会					
テーマ提示課	水産課					
事業概要	<p>多彩な地域資源（渚百選桜井海岸、綱敷天満宮、今治藩主の墓、国分寺、桜井漆器、天然地魚当）を持つ桜井地域にしまなみ海道客を誘導することで、通過型観光からの脱却を図り、今治の観光消費拡大を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝市（桜井たいたい市）の持続的開催 <p>桜井漁協は、新鮮でおいしい本物の地魚を消費者に直接お届けするため昨年度から漁港で観光朝市を開催しているが定着に至っていない。そこで本年度は、西条市への新聞広告や湯ノ浦地区ホテル群と連携した告知、HP等を活用した情報発信等に取り組み、市外からの誘客を促進し朝市の定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験（漁業、漆器等）の観光商品化 <p>漁業体験の担い手育成と商品化に向けたモニタリングを実施し、多様な観光ニーズに応える桜井独自の体験商品の造成に取り組む。</p>					
事業の発展性	引き続き来島会と共同で、遊休家屋の整備や、そこを拠点とした地域活性化を図っていききたい。その中で、障がい者や高齢者の雇用にも結び付けていききたい。					
補助額	市補助額	599,000	総事業額	855,760	補助対象経費	855,760
コメント	実施団体	<p><事業を実施しての効果> 朝市については、今治市周辺はもちろん他県からの来訪者もあり、認知度は上昇していると思われる。 体験については、高いポテンシャルはあるが、体験に必要な船員が体調を崩し実施できず、効果が出なかった。</p> <p><事業を実施しての問題点> 朝市については、商品の確保やそれに伴う販売時間や販売者を増加することによる規模の拡大、開始時間など。 体験については、周知方法や、船頭一人でもできる体制など。</p> <p><問題点に対する解決策> 朝市については広く参加者を求めたりし、販売時間の増大などを検討していききたい。 体験については、HP等の活用や、体制作りを検討していき商品化に結び付けたい。</p>				
	市民活動推進委員	<p>(1) 公益性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の施策をサポートできている。 ・鮮魚が安く買えるということは、市民ニーズに合致している。 ・魚離れが進む中、地域の人に地魚を見せたり、食べたりと体験してもらうのはいいと思う。その後、参加者の声を集めるニーズ調査は必要だと思う。 <p>(2) 継続性及び発展性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続性もあり発展するであろう。 ・元々人気行事であるイベントをさらに発展させようとする取り組みは評価する。 ・過去にも実績があり、今後も継続して開催することが見込まれる。続けることは可能だと思うが、発展性「事業の拡大」は今後の課題になると思う。 <p>(3) 実現性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は船員の体調不良等もあり、またたいたい市自体も3回少なくなったのは残念。 ・本補助金事業におけるメインとも言える体験活動が実施できなかったのは残念。不慮の際にも実施できるよう万全の体制を検討されたい。 ・過去の経験を踏まえた計画がなされており、効果的である。 ・問題解決に当たり、全体的にももう少し具体的な計画が必要になると思う。 				

テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	桜井渚泊推進事業	
実施団体名	桜井漁業協同組合	
コ メ ン ト	市 民 活 動 推 進 委 員	<p>(4) 団体の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動実績もあり、今後に期待する。 ・漁業協同組合という確立した団体である。 ・活動実績があるので事業のスケジュールをもっと細かく決めて活動することが必要と感じた。 <p>(5) 協働の必要性と効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働は必要である。 ・協働先の来島会との連携が、当団体が作った商品の販売だけに見受けられるので、ぜひ深い連携を構築されたい。 ・他団体とも協働しており、地域を活性化する効果がある。 ・一次産業者の取り組みなので協働は大事なテーマになる。事業の効果は今後の計画に期待したい。 <p>(6) 全体評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業としての評価は高いが、販売のみのイベントという印象。今後、付加価値を上げていくための工夫が必要。 ・桜井地区で定着している「たいたい市」が、本事業の目的を達成してさらに連携を深めて活性化できるよう、継続した協議と事業構築をお願いする。本趣旨が実現されるのを心待ちにしている。 ・鮮魚販売のイベントは開催が難しい面があるが、累計13回の開催は意味がある。今後も継続してもらいたい。 ・新鮮な魚が安く買えることで知名度も上がり人がたくさん集まってきてくれるようになったようだが、もう一つ発展させて、おいしい魚を味わえたりする場所があると、違う楽しみで集まってくれる人が増えるのではないかと期待する。 ・開催目的である観光消費という部分で、どう反映されたのか来場者にアンケートを実施したり、定期開催のためのどのような工夫をしたのかが不明瞭であった。このイベントはすぐ売り切れていて、参加しても仕方ないという声も聞いた。新聞の折り込み広告を入れる規模で開催するのであれば、商品販売以外の取り組みもされると目的に沿った事業になるのではないかと。 ・もう少し、自分達の強みを生かした事業計画にするため専門家の意見を取り入れ、事業計画を立て、団体独自で発展させて欲しい。いい資源がたくさんあるので今後の活動に期待したい。
	テ ー マ 提 示 課	<p>朝市には、県外からを含め多くの来場者があり、桜井の水産資源を市内のみならず県外にもPRできている。</p> <p>また、朝市開催についての期待の声は多く継続は見込まれる。</p> <p>適切な事業計画は立てられているものの、自然が相手のこともあり計画通り運ぶことが難しい場合もある。そのあたりを調整しながら実施していくことは可能だと思われる。「来島会」ともうまく連携できている。</p> <p>桜井漁協を中心として来島会等と連携をとり地域活性化を図っているところである。今後も朝市以外に漁業体験などの商品化に向けて考えられており、活性化の幅が広がっていくと思われる。</p> <p>朝市では、販売体系、販売する商品などの検討により、より拡大し、それに伴い協働していく団体の範囲も広がることが期待できる。</p> <p>桜井渚泊事業を開始して4年目を迎えるが、桜井の地域資源を取り込みながら地域全体の活力をアップし、地域の活性化を図っていくための取り組みの実施や検討を行っており、今後も期待したい。</p>